

令和8年度(2026年度) 北海道病害虫防除所 の業務概要



■北海道病害虫防除所条例

第1条 植物防疫法第32条の規定により、
道に病害虫防除所を置く。



■北海道病害虫防除所の沿革

- 昭和27年 病害虫防除所設置 [14所を各支庁に設置]
31年 [25所を各農業試験場（本場と支場）に配置]
45年 14所を各支庁に再編
平成3年 病害虫防除所の統合 [1本所（中央農試）・14支所（各支庁）]
13年 病害虫防除所支所の廃止
[予察事業の事務は支庁、巡回調査は普及センターで実施する]
16年 病害虫防除所を道立中央農試に統合、病害虫防除員の廃止
22年 道立農試の地方独立行政法人（北海道立総合研究機構）化に伴い、
農試から分離し、道農政部出先機関として中央農試庁舎内に駐在。
発生予察事業の一部を北海道立総合研究機構に委託。

北海道病虫害防除所の主な業務

1 病虫害発生予察の業務

北海道立総合研究機構からの情報や札幌管区気象台からの気象予報等に基づき、農作物を加害する主要病虫害の発生量や発生時期の予測、必要な防除対策を**病虫害発生予察情報**として関係機関・団体に提供。（病虫害防除所HPにも掲載）

2 農薬安全使用の推進

農薬の適正な使用及び保管の徹底により、農薬による危被害の防止、安全な農産物の安定生産、環境の保全を図るため、毎年、防除指導の資料として**北海道病虫害・雑草防除ガイド**を作成。

3 侵入警戒有害動植物への対応

標記病虫害の国内への侵入や蔓延を未然に防ぐため、**侵入調査事業**を実施。

●病虫害発生予察情報の発出状況[注意報]

第1号（令和7年5月13日）
あぶらな科野菜のコナガが多飛来
第2号（令和7年6月20日）
オオタバコガがフェロモントラップに多誘殺
第3号（令和7年6月27日）
とうもろこしを食害するアワノメイガが多誘殺
第4号（令和7年7月1日）
てんさいの褐斑病が早発
第5号（令和7年7月10日）
各種果樹で大型カメムシ類による果実被害が多くなる恐れ
第6号（令和7年7月18日）
水稻のアカヒゲホソミドリカスミカメが多発
第7号（令和7年7月18日）
シロオビノメイガが早期に飛来
第8号（令和7年7月25日）
全道的にマメシンクイガが早発・多発
第9号（令和7年8月22日）
シロイチモジヨトウのフェロモントラップに多誘殺を確認

●主な侵入警戒有害動植物



▲スイカ果実汚斑細菌病

病虫害発生予察調査と発生予察情報の提供

病虫害発生を予見し、合理的な対策を立てるため

- ① 各農試に設置した無防除の予察ほ場での定点調査、
 - ② 一般ほ場での巡回調査、
 - ③ 気象情報などに関連するデータにより
- 「発生時期」や「発生量」を予測し、関連機関・団体に提供。

発生予察調査

主要病虫害の発生状況・被害状況を定期的に調査しています。

定点調査

地帯別の発生推移を解析するため、中央・上川・道南・十勝・北見農試及び花・野菜技術センターに定点ほを設置して調査。
見取り調査に加えて、フェロモントラップ、黄色水盤、誘蛾灯などを利用して各種害虫の発生状況を調査。

巡回調査

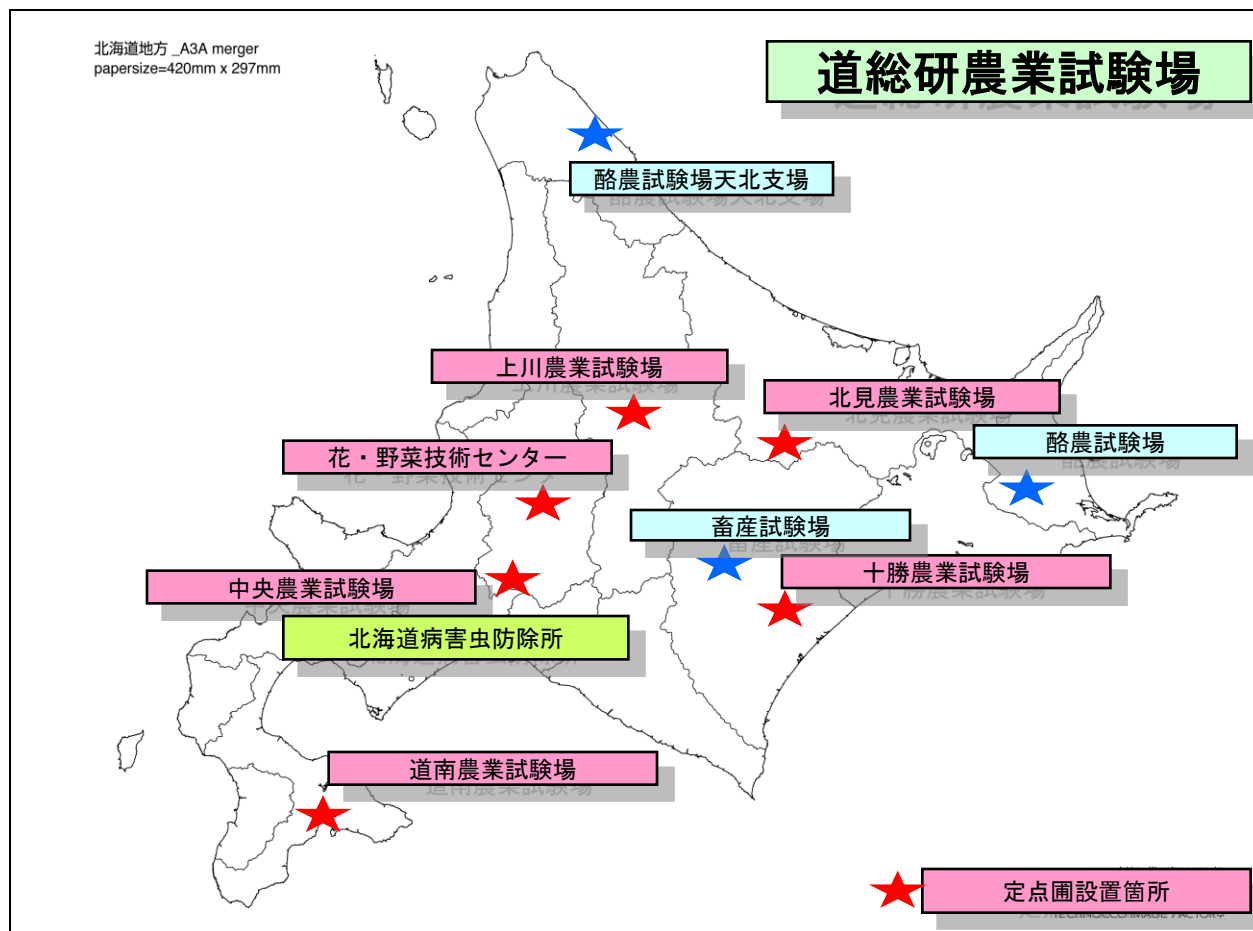
一般圃場における発生状況を農業改良普及センターが調査。

現況調査

道内全域を対象に、発生状況及び被害状況を把握するため、農業改良普及センターが調査。

農業試験場で得られる調査情報 [定点調査]

- ・ 道内6カ所の農業試験場(畜試、酪農試以外)内に定点圃を設置
- ・ 病害調査圃では殺虫剤のみ、虫害調査圃では殺菌剤のみを使用して管理
- ・ 調査対象作物数は14、調査対象病虫害数は延べ59
- ・ 病虫害の種類によって、毎日、5日、10日の間隔で調査を実施



馬鈴しょの疫病



小麦の赤さび病

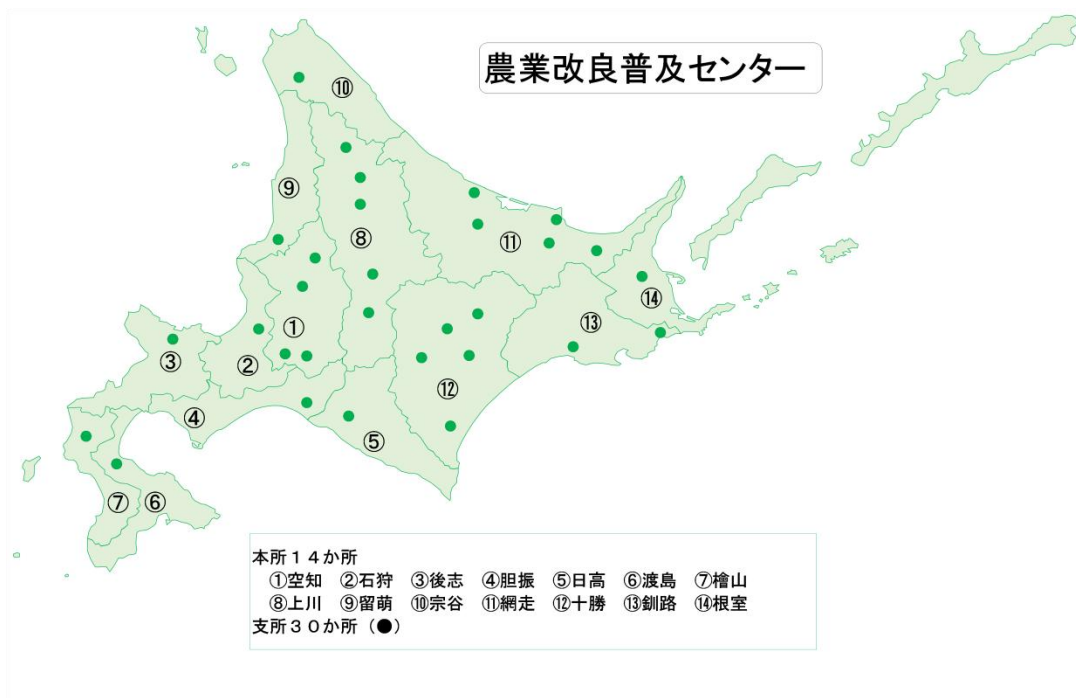
農業改良普及センターで得られる調査情報

巡回調査

- ・ 生産者圃場での発生状況を、概ね15日間隔で調査
- ・ 調査対象作物数は11、調査対象病害虫数は延べ20

現況調査

- ・ 各年次における病害虫の発生状況及び被害状況を把握するため、最終的な状況を判断できる時期に調査
- ・ 調査対象作物数は16、調査対象病害虫数は延べ72



予察調査の対象作物と病害虫

水稻	イネドロオイムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、いもち病、縞葉枯病、苗立枯病、ばか苗病、紋枯病、苗立枯細菌病、種子伝染性細菌病、イネミギワバエ、アワヨトウ
麦類	うどんこ病、さび病類、赤かび病、眼紋病、雪腐病、アブラムシ類（小麦）、ムギキモグリバエ、ムギクロハモグリバエ
とうもろこし	アワノメイガ
大豆	アブラムシ類、吸実性カメムシ類、マメシンクイガ、わい化病、べと病、食葉性鱗翅目幼虫、タネバエ
小豆	茎疫病、菌核病、灰色かび病、落葉病、マメアブラムシ、アズキノメイガ、食葉性鱗翅目幼虫
菜豆	黄化病、灰色かび病、菌核病、タネバエ
ばれいしょ	アブラムシ類、疫病、そうか病、粉状そうか病、黒あし病、軟腐病、塊茎腐敗
てんさい	褐斑病、黄化病、根腐病（黒根病を含む）、そう根病、テンサイトビハムシ、テンサイモグリハナバエ、シロオビノメイガ
たまねぎ	アザミウマ類、軟腐病、乾腐病、白斑葉枯病、タマネギバエ、ネギハモグリバエ
ねぎ	アザミウマ類、ネギコガ、ネギハモグリバエ、さび病、べと病
ながいも	アブラムシ類
にんじん	黒葉枯病
だいこん	アブラムシ類、軟腐病、キスジノミハムシ
キャベツ	モンシロチョウ
おとうろ	コスカシバ
りんご	シンクイムシ類、ハダニ類、ハマキムシ類、黒星病、斑点落葉病、腐らん病、モコリア病、キンモンホソガ
作物共通	オオタバコガ、コナガ、ヨトウガ、ツマジロクサヨトウ、タマヤナガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ 果樹カメムシ類

小麦の赤かび病



キャベツのコナガ



たまねぎの白斑葉枯病

■「病害虫発生予察情報」公表までのフローと情報提供先

